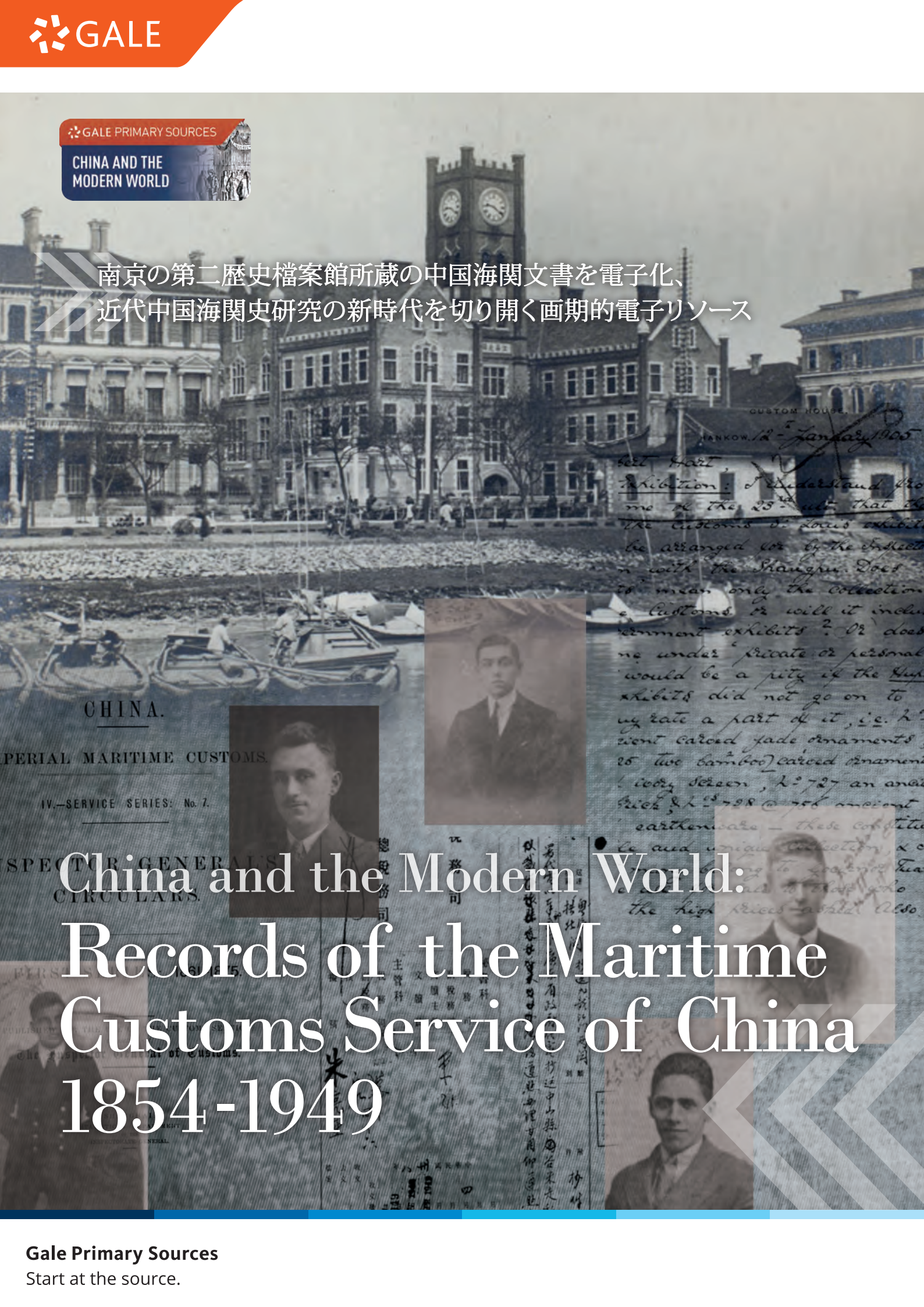


南京の第二歴史檔案館所蔵の中国海関文書を電子化、近代中国海関史研究の新時代を切り開く画期的電子リソース



CHINA.

PERIAL MARITIME CUSTOMS.

IV.—SERVICE SERIES: No. 7.

SPECTOR GENERAL'S CIRCULARS.

China and the Modern World: Records of the Maritime Customs Service of China 1854-1949

China and the Modern World Records of the Maritime

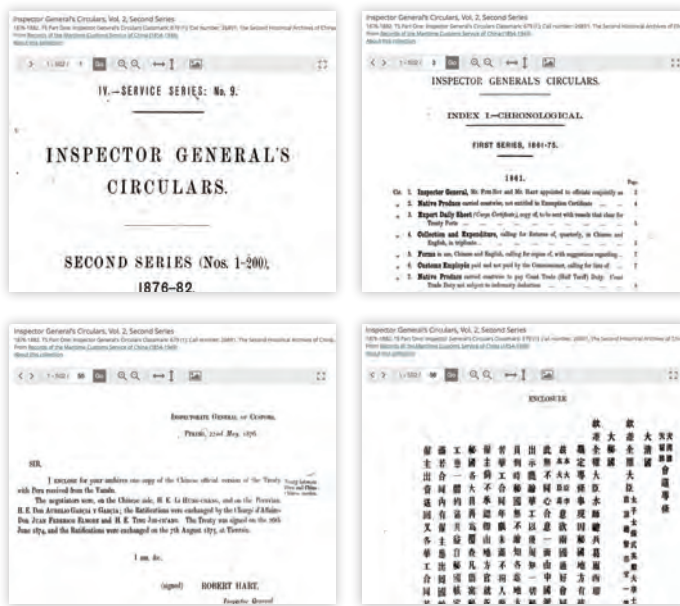
《収録資料》

総稅務司通令

Inspector General's Circulars

[索引 / 公式通令 / 準公式通令 / その他]

海関関係史料の中では最重要史料。海関の最高責任者である総稅務司が各地の海関稅務司に送付した公式文書で、海関内部では法的効力をもった。海関内部では嚴重な取り扱いがなされ、外部の間人はもちろん、内部でも上層部クラスにしか閲覧が許されなかった。通令の内容は、海関の組織から、脱税や密輸の取締りや没収に関する月次報告の作成、書簡の記録簿作成、稅務司による貿易従事の禁止、海関の船舶や建物が掲揚する旗のデザインに関するものまで、多様な事柄に関して詳細に規定された。通令は時系列に整理され、第1シリーズ(1861年から1875年)、第2シリーズ(1876年から1949年)、第3シリーズ(1919年から1931年)、岸本廣吉總稅務司時代(1941年から1945年)、重慶總稅務司時代(1942年から1948年)、總稅務司の準公式通令等として製本され、保管されてきた。本データベースは、検索用に製作された索引巻を含め製本版を元に電子化されている。通令にしばしば同封された同封文書(中国語や日本語の文書を含む)も収録されている。1861年の第1号以来、1949年までに発せられた約7,500件の通令が収録されている。

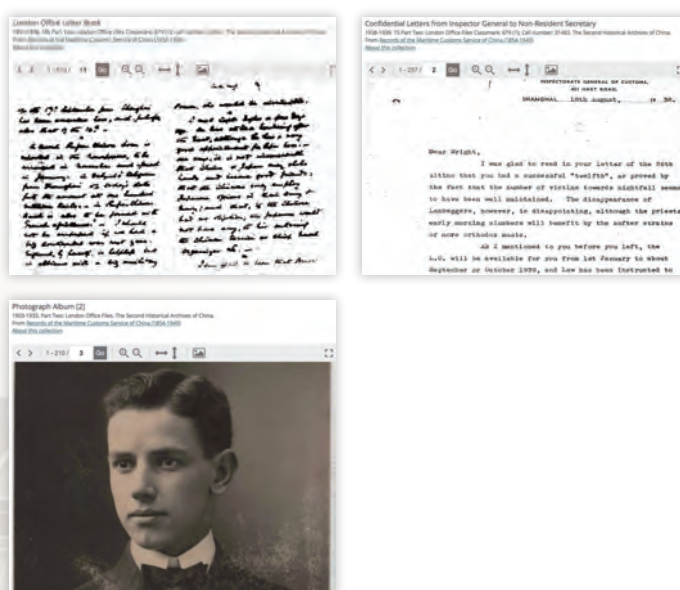


ロンドン事務所文書

London Office Files

[文書登録簿 / レターブック / 準公式書簡 / 機密書簡 / 私信 / 電信・覚書 / ロンドン事務所の歴史]

ロンドンに置かれた海関の出先機関の文書。海関のために求人活動、物資の調達活動から、イギリス外務省や対中国債権を有する金融機関や債権団と海関との折衝まで、重要な任務を負っていた。ロンドン事務所の所長は、ロンドンという地の利を生かして外交や金融機関との折衝に従事したことに加え、總稅務司の在外個人秘書として總稅務司をサポートした。文書・書簡の登録簿、ロンドン事務所レターブック(1874年-1905年、1883年-1898年、1906年-1926年)、ロンドン事務所所長と總稅務司の準公式書簡(1908年-1949年)、ロンドン事務所所長と總稅務司機密書簡・私信(1908年から1920年までは、大半がアグレン總稅務司との書簡、1938年以降は大半がメーズ總稅務司との書簡)、太平洋戦争期の覚書と電信、ロンドン事務所の歴史、所蔵文書、スタッフ、事務所運営等に関する資料に加え、写真を収めたファイルも収録されている。



Customs Service of China

条約港からの准公式書簡

Semi-Official Correspondence from Selected Ports

[上海税務司からの書簡 / 汕頭税務司からの書簡 / 漢口税務司からの書簡 / ハルビン税務司からの書簡]

漢口、哈爾濱（ハルビン）、上海、汕頭の税務司から総税務司署に送られた書簡。総税務司宛の書簡もあればそれ以外の人物宛の書簡もある。収録されているのは20世紀の書簡のみ。19世紀の書簡は1900年の義和団の乱により総税務司署の文書館が破壊され、現存していない。公式文書と比べ、出来事や関係者に関する個人的な見解を含む場合が多い。また、特定の出来事は、第一報が准公式書簡に現れたのち、公式文書で言及される、というパターンをたどることが少なくない。さらに、公式文書が公式文書としての性格故に、特定の出来事に関して詳細な情報を欠落することが多いのに対して、准公式文書は事実情報も論評も詳細に及ぶことが多い。そのため、准公式書簡は、公式文書と補充し合うことによって、事象を多面的に捉えるのに役立つ。税務司から総税務司への書簡では、他の税務司に対する批判や評価がなされていることもあり、総税務司にとっては税務司同士の人間関係を知る格好のツールであり、税務司と総税務司の人間関係作りの上でも重要な機能を担った。条約港周辺の地方政治の状況を知る上でも第一級の史料。



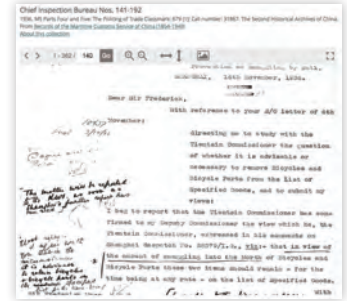
貿易取締関係文書

The Policing of Trade

[海関監督 / 河川警察 / 総税務司の関務処との機密書簡 / 密輸取締り警察隊 / 常関からの業務継承 / 密輸報告 / 阿片の規制 / 中央検査局の総税務司宛書簡]

《収録ファイル例》

- ◆ 海関監督と海関税務司の間の覚書（1863年）
- ◆ 海関監督から温州海関への書簡（1877年 - 1893年）
- ◆ 海関監督から蕪湖海関への書簡（1896年 - 1901年）
- ◆ 海関監督から廈門海関への書簡（1862年 - 1901年）
- ◆ 天津常関（1903 - 1910、1921年 - 1926年、1929年 - 1931年）
- ◆ 上海河川警察（1901年 - 1933年）
- ◆ 常関の税率改訂に関する対照表（1915年）
- ◆ 廈門常関の運営に関する諸問題（1905年 - 1919年）
- ◆ 廈門、福州、広東の河川警察（1903年 - 1920年）
- ◆ 麻薬輸入に関する規則（1920年 - 1928年、1930年 - 1931年）
- ◆ 密輸取締法の運用に関する法律（1913年 - 1926年）
- ◆ 密輸取締のための警備隊の創設（1929年 - 1930年）
- ◆ 鳳陽常関の海関監督下への移転（1930年）
- ◆ 鳳陽常関の徴税（1930年 - 1931年）
- ◆ 総税務司の関務処との機密書簡（1926年 - 1945年）
- ◆ モルヒネ、コカイン、ヘロイン等の密輸で使われる方法（1929年 - 1931年）
- ◆ 密輸取締科税務司の覚書（1932年 - 1949年）
- ◆ 中国全土の密輸と密輸取締に関する総論（1911年 - 1921年、1932年 - 1949年）
- ◆ 天津における密輸と密輸取締に関する総論（1931年 - 1933年、1936年 - 1948年）
- ◆ 上海における密輸と密輸取締に関する総論（1937年 - 1949年）
- ◆ 広東における密輸と密輸取締に関する総論（1913年 - 1949年）
- ◆ 密輸報告：上海（1931年 - 1935年）
- ◆ 密輸報告：広東（1932年 - 1935年）
- ◆ 密輸報告：九龍（1934年 - 1935年）
- ◆ 中央検査局の総税務司宛書簡（1936年 - 1938年）



Chief Inspection Bureau No. 141-192

1916. HK Part Four and Five: The Policing of Trade (Customs) (1915) (The Second Historical Archive of China, from Records of the Maritime Customs Service of China (1840-1949))

Read the document

141-192

141-192

141-192

Item	Article	Applicant	Rate of Duty	Remarks
141-192	141-192	141-192	141-192	141-192
141-192	141-192	141-192	141-192	141-192
141-192	141-192	141-192	141-192	141-192
141-192	141-192	141-192	141-192	141-192

Chief Inspection Bureau No. 141-192

1916. HK Part Four and Five: The Policing of Trade (Customs) (1915) (The Second Historical Archive of China, from Records of the Maritime Customs Service of China (1840-1949))

Read the document

141-192

141-192

141-192

Item	Article	Applicant	Rate of Duty	Remarks
141-192	141-192	141-192	141-192	141-192
141-192	141-192	141-192	141-192	141-192
141-192	141-192	141-192	141-192	141-192
141-192	141-192	141-192	141-192	141-192

China 1854-1949

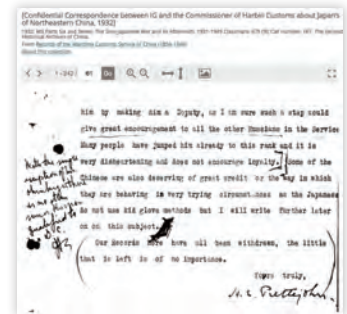
日中戦争とその後の国共内戦期関係文書

The Sino-Japanese War and its Aftermath, 1931-1949

[日中戦争の勃発 / 日中戦争期と国共内戦期の海関 / 岸本廣吉 / 重慶と重慶総稅務司署 / 日中戦争後の再建と海関の再開 / 戦時消費稅]

《収録ファイル例》

- ◆ 中国東北部の日本占領に関するメーズ総稅務司とハルビン稅務司の機密往復書簡 (1932年)
- ◆ 1932年の中国東北部における關稅徵收
- ◆ 日本の中国東北部占領に関するジュネーブ會議への派遣に関するファイル (1933年)
- ◆ 日本占領以後の中国東北部における關稅收入統計 (1932年-1936年)
- ◆ メーズ總稅務司滯英時のメーズと財務科稅務司 J.H. カボンの機密往復書簡 (1937年)
- ◆ 中国海關による対滿州國關稅請求、日本軍占領地帯と非占領地帯における關稅徵收 (1935年-1938年)
- ◆ 總稅務司メーズとイギリス大使館との機密書簡 (1938年、1939年、1940年、1941年)
- ◆ 總稅務司メーズと重慶國民政府との機密書簡 (1938年)
- ◆ 總稅務司メーズとアメリカ大使館との機密書簡 (1938年、1939年、1940年、1941年)
- ◆ 總稅務司メーズとフランス大使館との機密書簡 (1939年、1940年、1941年)
- ◆ 日本占領期の上海における海關施設の諸問題 (1938年-1939年)
- ◆ 日中戦争の諸問題、青島 (1937年-1939年)
- ◆ 日中戦争勃発に伴う關稅規則と稅額査定に関する諸問題 (1937年-1939年)
- ◆ 日中戦争、福州 (1937年-1939年)
- ◆ 日中戦争、杭州 (1937年-1939年)
- ◆ レスター・ノックス・リトルとフレデリック・メーズの機密往復書簡・私信 (1939年-1940年)
- ◆ 太平洋戦争勃発前後の時期における上海での經驗に関する總稅務司メーズの報告 (1942年)
- ◆ 戦時消費稅課稅への抵抗と不満 (1942年)
- ◆ 敵國の金融・經濟計画と状態
- ◆ 岸本廣吉氏の職歴 (1929年-1945年)



Year (Last Fiscal Year End)	Revenues (Existing Outflow)	Revenues (Existing Inflow)
1932	\$ 3,300,710.90	\$ 7,047,662.00
1933	\$ 4,079,020.97	\$ 13,303,977.13
1934	\$ 5,770,544.54	\$ 16,746,828.65
1935	\$ 7,120,525.90	\$ 21,282,009.90
1936	\$ 8,419,022.10	\$ 24,092,640.65
	\$ 25,708,822.10	\$ 56,341,605.29

▶ 併せてご検討ください

The Chinese Recorder など、近代中国の英文雑誌 17 誌を収録

China from Empire to Republic: Missionary, Sinology, and Literary Periodicals

- ◆ The Chinese Recorder (教務雜誌、1867 - 1941)
- ◆ The West China Missionary News (華西教會新聞、1899 - 1943)
- ◆ The China Mission / Christian Year Book (中國基督教年鑑、1910 - 1939)
- ◆ Educational Review: continuing the monthly bulletin of the Educational Association of China (教育季報、1907 - 1938)
- ◆ Canton Miscellany (廣州雜誌、1831)
- ◆ Chinese Miscellany (中國雜誌、1845 - 1850)
- ◆ The Chinese and Japanese Repository (中日叢報、1863 - 1865)
- ◆ Notes and Queries on China and Japan (中日釋疑、1867 - 1869)
- ◆ The China Review: or Notes and Queries on the Far East (中國評論、1872 - 1901)
- ◆ The New China Review (新中國評論、1919 - 1922)
- ◆ Indo-Chinese Gleaner (印中搜聞、1817 - 1822)
- ◆ Bulletin of the Catholic University of Peking (輔仁英文學志、1926 - 1934)
- ◆ The Yenching Journal of Social Studies (燕京社會學界、1938 - 1950)
- ◆ The China Quarterly (英文中國季刊、1935 - 1941)
- ◆ T'ien Hsia Monthly (天下月刊、1935 - 1941)
- ◆ The China Critic (中國評論週報、1928 - 1946)
- ◆ The China Year Book (中華年鑑、1912 - 1939)

中国海關公報 1869-1913

China Maritime Customs Service: The Customs' Gazette, 1869-1913 (Archives Unbound)

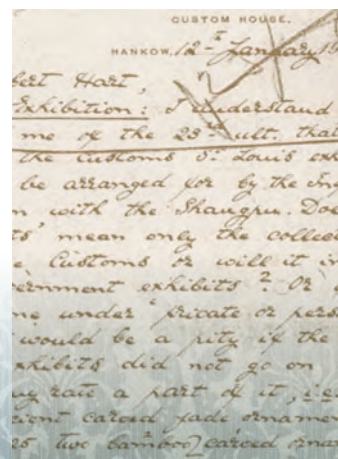
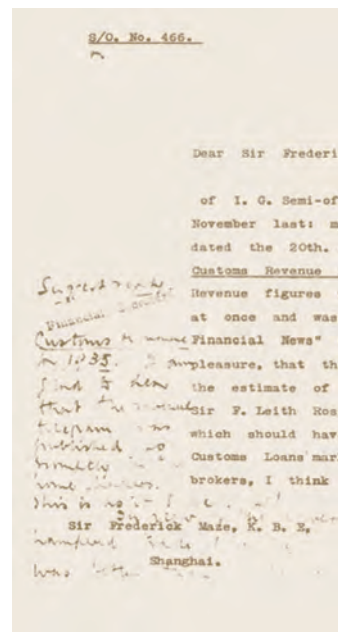
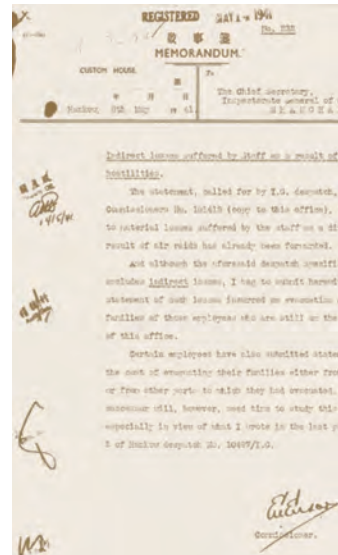
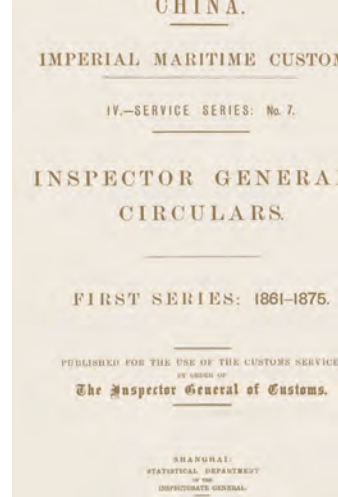
中国海關總稅務司の命令で刊行された海關季刊誌。漢口、天津、鎮江、寧波、福州、廈門、汕頭、広東等の条約港に設置された海關徵稅所が発行し、輸出入、船舶、關稅收入等に関する統計、罰金や密輸品の沒収に関する情報を収録した貿易報告を掲載した。

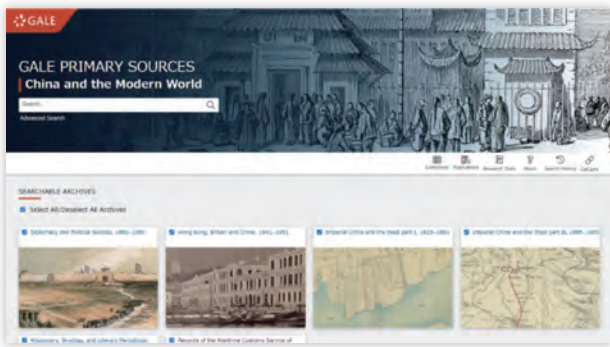
近代中国海関小史

1850年代の中国では太平天国の乱や宗教結社や不法集団の活動により社会が不安定化、貿易の脱税や密輸が横行、清朝による関税徴税業務は破綻を来していました。この状況の中、アヘン戦争後の南京条約以来始められた条約港を通じた貿易活動の停滞を恐れたイギリスは、独自に関税業務を実施することが急務であると考え、清朝の伝統的な徴税機関である海関において清朝官吏に代わり業務を代行、ここに外国人税務司制度が創設されます（1854年）。当初上海に設置された外国人税務司を他の条約港にも設置することが論議される中で、1859年、各条約港の海関を統括し、雇用外国人の人事を司る総税務司が創設され、ホレイショ・レイが就任、外国人税務司制度は広州、汕頭など他の条約港に拡大します。こうして清朝の伝統的な関税徴取機関である海関は、組織的には中国の行政機関としての体裁を取りつつも、外国人が中心となって運営する機関として生まれ変わりました。就任4年後に解任されたレイの後に総税務司に着任したのがロバート・ハート。卓越した行政能力を備え、人事権の掌握を背景に強大な権限をもち、半世紀近くに亘り海関行政に君臨し、「最も影響力のある外国人」と言われたハートの時代に、海関組織は最盛期を迎えます。当初は上海欽差大臣の下に置かれた総税務司は、ハートの時代に清朝の外交、関税、郵政等を管轄する北京の總理衙門直属のポジションになり、海関本部も上海から北京に移動しました。本部が北京に移動したことにより、總理衙門高官との人脈が深まる中で、ハートや海関幹部は清朝役人の顧問として、様々な助言を行ないました。海関の活動領域も関税管理を超えて、灯台の設置・運営、密輸取締、河川・港湾・鉄道の治安活動、郵便事業の運営から、貿易統計や船舶向け航海案内や気象、公衆衛生に関する報告の刊行、教育機関の運営、さらには中国の外交活動への関与、対外使節団派遣への資金供与、万国博覧会への出展指導まで、近代化を推進する清朝政府の諮問機関として清朝の財政、外交に多大な影響を及ぼしました。日清戦争や義和団事件以後、対外賠償金の支払や対外債務の返済に必要とされる財源が不足する中で、海関は税の管轄対象を外国貿易の関税以外の内地税等にも拡大しますが、清朝崩壊後、ハートの後任のフランシス・アグレン総税務司の下で、関税徴取管理を超えて、関税徴取業務にも直接関わるようになり、関税・内地税の徴収を通して対外債務返済や賠償金支払を円滑に行なうスキームを構築します。1930年代のフレデリック・メーズ総税務司の時代には、満州事変、満州国建国を経て日中戦争が勃発し戦火が拡大する中で、戦時下での関税徴取という問題に対処します。日米開戦後、日本軍が上海を制圧すると、数年前に北京から上海に移転していた海関本部も日本軍の監視下に入り、総税務司メーズは解任、岸本廣吉が総税務司に着任する一方で、蒋介石の重慶国民党政府も総税務司署を設立し、アメリカ人のレスター・ノックス・リトルが総税務司に就任、1945年まで上海と重慶に二人の総税務司が並立する特異な状況が生まれました。1945年の日本降伏後、国共内戦を経て、中華人民共和国が建国されると、総税務司署は閉鎖、外国人税務司の下で運営された近代中国海関は100年の歴史に幕を下ろしました。

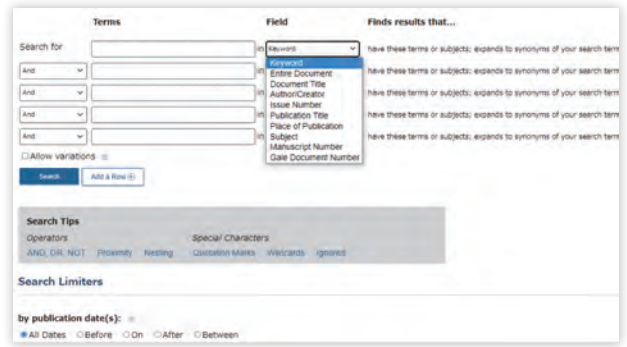
第二歴史檔案館所蔵の海関内部文書を電子化

近代中国海関史研究の歴史は長く、古くは20世紀初頭に遡ります。海関が組織的には中国の行政機関でありながら、イギリス人を中心とする外国人により運営されていたため、近代化推進の側面を強調する立場から、欧米列強による帝国主義的支配のシンボリックな存在とみなす立場まで、海関は様々な歴史的評価が下されてきました。また、海関自体が17世紀に由来する清朝古来の行政組織であるため、その歴史の中での外国人税務司制度の位置づけをめぐっても、議論が交わされています。従来の膨大な海関史研究の中で研究潮流をなしたものとしては、ハーバート大学のジョン・フェアバンク率いるグループの研究があります。フェアバンクらの研究グループは、ロバート・ハートの書簡や日記に依拠しつつ、中国近代化を牽引した海関の役割を強調し、世界的に大きな影響を及ぼすと同時に、ロバート・ハート個人への学問的関心を喚起、ハート産業とも称されるほど、ロバート・ハートに関する膨大な論文やモノグラフを世に送り出す端緒となりました。また、関税徴税機関としての役割を担った海関は近代中国経済史のホットトピックとしても注目を集めてきました。海関自体が出版活動に精力的に取り組み、統計等をシリーズ化して刊行していた史料の充実にも支えられ、経済史のアプローチによる海関研究は台湾の劉翠溶や日本の濱下武志らによりリードされてきました。20世紀末には、南京の第二歴史檔案館に膨大な海関内部文書が収蔵されているのが発見され、海関史研究は新たな局面を迎えます。ファイル数55,000以上に及ぶ第二歴史檔案館の文書群の中から重要な文書710ファイルを精選、ロバート・ヴィカーズとハンス・ヴァン・デ・ヴェンの監修の下、マイクロフィルム版『中国と西洋：南京第二歴史檔案館収蔵海関関係文書集成（China and the West: The Maritime Customs Service Archive from the Second Historical Archives of China, Nanjing）』が刊行されます。本データベースは、このマイクロフィルム版を電子化したものです。総税務司通令、ロンドン事務所文書などの海関内部文書を収録する本データベースは、これまでハート関係文書や統計などの刊行物に集中する傾向にあった海関史研究の新時代を切り開くとともに、全文検索機能や検索の絞り込み機能を実装し、文書の隅々まで効率的に限なく目取りをきかせることにより、海関文書の新しい学術的活用之道を開くものです。

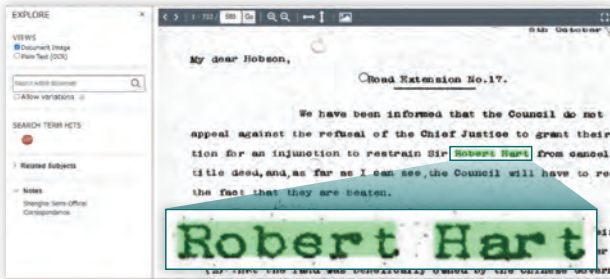




トップページ



詳細検索画面



一字一句をフルテキスト検索。検索語はハイライト表示



論文に引用するための書誌情報も充実（文書タイトル、コレクション、言語、マニュスクリプト番号、年代等）

データベースの概要

- ◆ **年代**：1854年 - 1949年
- ◆ **ファイル数、総ページ数**：710ファイル、27万ページ
- ◆ **言語**：英語が大半、そのほか中国語、日本語（フルテキスト検索は英語のみ）
- ◆ **原資料所蔵機関**：第二歴史檔案館（南京）
- ◆ **編集顧問**：ロバート・ヴィカーズ（ブリストル大学）、ハンス・ヴァン・デ・ヴェン（ケンブリッジ大学）、リチャード・ホロウィッツ（カリフォルニア州立大学ノースリッジ校）、馬振犢（中国第二歴史檔案館）、楊智友（中国第二歴史檔案館）、張志雲（上海交通大学）
- ◆ **解説**：（中国語による楊智友の解説以外はすべて英文）
 - 「中国の近代化への道：帝国から共和国へ（1817年から1949年）」（ハオ・ガオ、エクセター大学）
 - 「画期的変化の証言者としての中国英文誌」（ラース・ラーマン、ロンドン大学）
 - 「近代中国海関 1854 - 1949：序説」（リチャード・ホロウィッツ）
 - 「近代中国海関と公正な統治」（楊智友）
 - 「近代中国海関史研究概観」（張志雲）
 - 「近代中国海関史：精選書誌」（編集リチャード・ホロウィッツ）
 - 「近代中国海関文書序説、第一部：総稅務司通令」（ハンス・ヴァン・デ・ヴェン、ロバート・ヴィカーズ）
 - 「近代中国海関文書序説、第二部：ロンドン事務所文書」（ロバート・ヴィカーズ）
 - 「近代中国海関文書序説、第三部：条約港からの準公式書簡」（ロバート・ヴィカーズ）
 - 「近代中国海関文書序説、第四・五部：貿易取締」（ハンス・ヴァン・デ・ヴェン）
 - 「近代中国海関文書序説、第六・七部：日中戦争とその後」（ロバート・ヴィカーズ）
- ◆ **シリーズ**：シリーズ China From Empire to Republic の第2部をなします。すでにリリースされている第1部 "Missionary, Sinology, and Literary Periodicals" と同じプラットフォームです。（第1部は中面を参照下さい）
- ◆ **備考**：電子化に際してマイクロフィルム版 "China and the West: The Maritime Customs Service Archive from the Second Historical Archives of China, Nanjing" をスキャンしていますが、写真は新たに撮影しました。

ページ送り、画面拡大・縮小、全画面表示、輝度・コントラスト調整のビューワ機能の他、印刷、PDF ファイルのダウンロード、OCR テキストのダウンロード、書誌自動生成、書誌情報のエクスポート、メール配信、Google / Microsoft ログインとクラウド連携の諸機能を実装しています。



すべてのコンテンツと機能をお試しいただける1ヶ月の無料トライアルをご提供しております。商品に関するお問い合わせは、センゲージャーニング株式会社までお願いします。

Tel : 03-3511-4390 E-mail : GaleJapan@cengage.com URL : www.gale.com/jp